

評価区分	評価項目	主な評価の観点	配点
A. 業務理解度と提案の基本方針 (15点)	(1) 業務目的・背景の理解度	・仕様書、実施要領に示された本業務の目的、背景、網走市の状況（Google Workspace環境等）を正確に理解しているか。	5
	(2) 提案の基本方針・全体像	・網走市の課題解決に貢献しようとする意欲、熱意が感じられるか。 ・提案全体として、一貫性があり、業務目的達成に向けた明確な方針が示されているか。	10
B. 業務遂行能力（実績・専門性） (30点)	(1) 自治体DX計画策定支援等の実績	・仕様書6(1)、実施要領4(2)イ①に示された自治体DX計画等策定支援の実績を有し、その内容・成果は本業務に活かせるものか。	5
	(2) 生成AI（特にGoogle Workspace環境下）の活用支援に係る知見・実績	・仕様書6(2), 6(3)、実施要領4(2)イ②③に示された生成AIに関する専門知識、行政での活用・リスク管理の知見、研修・伴走支援の実績を有するか。 ・特にGoogle Workspace（Gemini等）環境下での活用支援実績や知見を有するか。	10
	(3) 「手のひら行政」・業務効率化（BPR）等に関する知見・実績	・仕様書6(4), 6(5)に示された市民向けデジタルサービスや業務プロセス分析・改善に関する知見・実績を有するか。	5
	(4) 研修・ワークショップの企画・実施能力	・仕様書6(6)、実施要領4(2)イ③に示された研修等の企画力、講師としての能力・実績を有するか。	5
	(5) 情報セキュリティ・個人情報保護に関する知識	・仕様書6(7)に示された情報セキュリティ、個人情報保護に関する知識を有し、適切な管理体制が見込めるか。	5
C. 提案内容の具体性・実効性 (35点)	(1) 次期DX推進計画策定支援の具体性・実効性	・仕様書5(1)の各項目（現状分析、方向性設定、計画策定、体制・人材育成検討）について、網走市の実情を踏まえた具体的かつ実現可能な手法・スケジュールが提案されているか。 ・特に「手のひら行政」深化や生成AI活用による業務効率化について、先進的かつ効果的な提案があるか。	15
	(2) 生成AI活用伴走支援（研修・ワークショップ等）の具体性・実効性	・仕様書5(2)の各項目（ガイドライン支援、研修企画・実施、個別相談、ナレッジ共有）について、具体的に実践的な内容となっているか。 ・特にGoogle Workspace（Gemini等）を活用した研修内容や、職員のスキル向上・活用促進に繋がる工夫が見られるか。	15
	(3) 独自提案（任意）	・仕様書5(3)オに基づく独自提案がある場合、その内容は網走市のDX推進に資する有効なものか。	5
D. 業務実施体制 (15点)	(1) 実施体制の適切性	・仕様書7(1), 7(2)に基づき、業務全体を円滑に遂行できる人員配置（責任者、主担当者等）、役割分担、連携体制が構築されているか。	5
	(2) 担当者の経験・能力	・仕様書6, 7(1)、実施要領7(1)エに基づき、配置予定の主担当者等が本業務に関連する十分な経験、専門性、コミュニケーション能力、プロジェクトマネジメント能力を有しているか。	10
E. プレゼンテーション・ヒアリング (5点)	(1) 説明の分かりやすさ、質疑応答の的確性	・提案内容について、論理的で分かりやすい説明がなされているか。 ・質疑に対して、的確かつ誠実に回答しているか。	5
合計			100